

令和8年3月31日

港湾局技術企画課

「港湾の施設の新しい点検技術 カタログ」に10技術を追加&令和8年度の公募を開始
～港湾施設の点検診断の効率化に寄与する新しい点検技術の活用を推進～

国土交通省港湾局が、港湾施設の点検診断における新技術の活用を推進するために取りまとめている「港湾の施設の新しい点検技術 カタログ」に、新たに10技術を追加しました。
令和8年度も掲載技術の更なる拡充を図るため、公募を行います。

高度経済成長期に集中的に整備された港湾施設は、その老朽化が急速に進行しており、新技術の活用等による点検診断の効率化が求められています。

国土交通省港湾局では、これを推進するため、令和2年度に「港湾の施設の新しい点検技術 カタログ」（以下「カタログ」）を作成し、その後、毎年度公募を実施して掲載技術を拡充しています。本カタログは、点検業務の発注者や受注者に、点検手法を検討する際の参考資料としてご活用いただくことを目的としています。

今般、令和7年度に応募のあった新しい点検技術について、有識者による審査を行い、別紙のとおり10技術をカタログに追加しました。これにより、掲載されている新技術は計40技術になりました。

また、令和8年度も引き続き、カタログに掲載する新しい点検技術について、下記のとおり公募いたします。

記

公募期間：令和8年4月1日（水）～5月29日（金）

公募内容：港湾の施設（外郭施設、係留施設、水域施設、荷捌き施設、保管施設、港湾環境整備施設等）の点検診断の効率化が図られる技術

今後の予定：令和8年8月頃に実施する選定会議、令和9年2月頃に実施する評価会議を経て、カタログへの掲載可否を判断。両会議の間の期間に、応募者により技術検証を実施していただく予定。

その他：公募の詳細については、以下のページからご確認ください。

■ カタログと令和8年度公募要領は、以下のページに掲載しています。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000040.html

【問い合わせ先】

港湾局 技術企画課 荒井、下谷、木原

代表：03-5253-8111（内線46-838,46-342）、03-5253-8660（直通）

「港湾の施設の新しい点検技術 カタログ」
令和7年度 追加技術

技術名	開発者
海中部の点検	
電気防食効果監視システム「電防ウォッチャー」	株式会社ナカポーテック
電気防食モニタリングシステム(水中取替式陽極発生電流測定装置)	株式会社ナカポーテック
非接触型渦流探傷装置(RTD-INCOTEST)	若築建設株式会社
水中フォトグラメトリカメラを用いた広範囲構造物点検手法	サイスガジェット株式会社
全方向水面移動式ボート型ドローンを用いた洗掘調査支援技術	株式会社 ジャパン・インフラ・ウェイマーク
海上部の点検	
デジタル画像による、構造物の点検・分析支援システム	株式会社中部 EEN
KK ボート(ラジコンボート)を用いた栈橋上部工下面の 3D 画像計測技術	計測検査株式会社
全方向水面移動式ボート型ドローンを用いた点検支援技術	株式会社 ジャパン・インフラ・ウェイマーク
陸上部の点検	
障害物回避ドローンを用いた港湾施設の点検技術	KDDI スマートドローン株式会社
全方向衝突回避センサーを有する小型ドローン技術	株式会社 ジャパン・インフラ・ウェイマーク